

2の二

事実と意見とを区別して書くことができるかどうかをみる問題

<関連する過去の問題>

H25B②ニ：【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く問題

【本の一部】「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックを賢く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくはないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまう。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

Handwriting practice grid with the text "けれども、" written in the first cell.

条件
○ 【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書くこと。
○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

二 岩田さんは、「下書き①」の[ ]に、プラスチックがずっと残ってしまう理由を書くことにしました。そのために資料を探し、本を見つけました。次は、その【本の一部】です。[ ]に入る内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くくえいきょうをあたえていることにひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500トンだったのが、2014年には3億1100トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは、時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれども、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

(省略)

岩田さんの学級では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することにしました。次は、岩田さんが書いている文章の「下書き①」と「下書き②」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

正答の導き方

〔1〕 問題文と〈条件〉を読んで問われていることを確認する。

- ① 問題文から「プラスチックがずっと残ってしまう理由」を書く必要がある。
② 〈条件〉より、【本の一部】から言葉や文を取り上げ、何という本から取り上げたかが分かるように書く必要がある。

〔2〕 「本の一部」から「プラスチックがずっと残ってしまう理由」を示している言葉や文を見つける。

文末表現に目を向けて、【本の一部】の中から、「プラスチックがずっと残ってしまう理由」にあたる言葉や文を選ぶ。

〔3〕 見つけた言葉や文を用いて、条件に合わせて書く。その際、【下書き①】にあるように「～によると、・・・そうです。」の形を使って、30字以上80字以内で書く。

(正答例)

けれども、「プラスチックのひみつ」という本によると、プラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されずに、ずっと残ってしまうそうです。(78字)

必要な知識・技能

- ・ 「～ので」「～から」などの文末表現に目を向けるなどして、理由となる内容をとらえる。
・ 事実と感想、意見などを区別して書く。

# 調査問題を活用した授業改善のための指導資料

## 誤答例とその原因

(誤答例1) けれども、プラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されずに、ずっと残ってしまうのです。(56字)

- ◆ 何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書いていない。  
※ 「プラスチックのひみつ」という本に書かれた事実であるということを明確にして書くことができていない。

(誤答例2) けれども、「プラスチックのひみつ」という本によると、軽くてしょう夫で持ち運びがしやすいえ、さまざまな製品に加工することができるそうです。(69字)

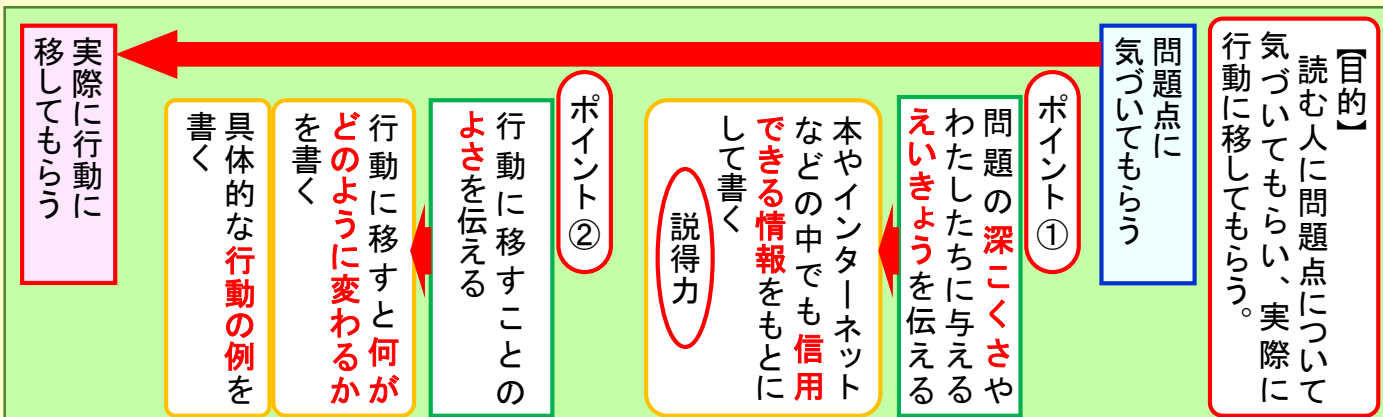
- ◆ 【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由について取り上げ書いていない。  
※ つなぎ言葉「けれども」の意味を理解しておらず、文と文のつながりを考えて書くことができていない。

## 授業改善のポイント

- 本問では、生活の中の問題について調べ、提案する文章を書く場面が設定されています。提案する文章は、提案内容に基づいて実際に行動に移してもらうことが目的です。そのため、読み手に提案を受け入れてもらうことができるように書く必要があります。

読み手に提案を受け入れてもらうことができるようにするには、どのように書くことがよいでしょうか。

下の図のように、2つのポイントで書くことが大切だと思います。



- 本や資料の情報を活用して、自分の意見を書く場合、事実と意見とを区別して書くことができるように指導することが大切です。

調べて分かったことと自分の考えを次の表に整理してみましょう。

(かん境省HP) 世界のプラスチック容器生産量 一九六四年 一五〇〇万トン 二〇一四年 三億一〇〇万トン	(新聞記事) ・海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からベットのサルが発見 ・森のサルがプラスチックごみを食べてしまった	プラスチック製品 ↓ ペットボトル ストロー レジぶくろ...	分かったこと
とても増えている 驚いた	生き物に深く影響を与えていることに驚いた	プラスチック製品のおかげで便利な生活を送ることができ	考えたこと

指導に当たっては、**話し合い**や**お互いの文章を読み合う**などの活動を取り入れ、**自分たちが書いたものをもとに、気づかせる指導**を心がけましょう。